

お天気解説

アキラのズバツと

温暖化による影響シリーズ
「この夏の異常気象」その3

世界的な高温と被害

～江戸川区は大丈夫か？～

令和5年9月15日

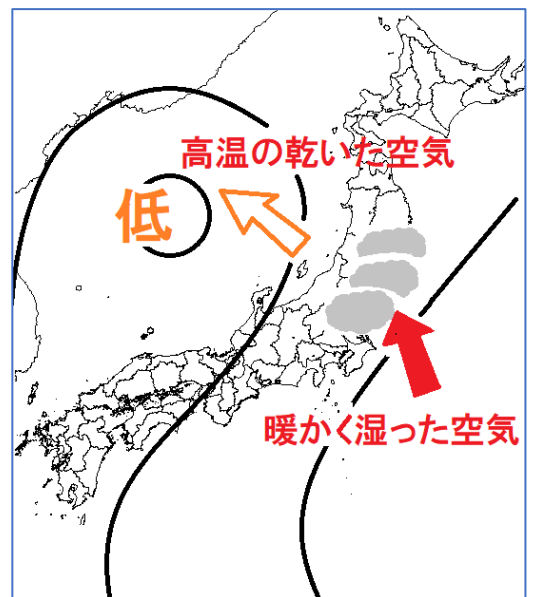
江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

この夏、かなりの高温となったのは日本だけではなく、世界各地でも記録的な高温となり被害が出ています。

ヨーロッパでは最高気温がイタリア・サルディーニヤ島で45.7℃、シチリア島で47.0℃、フランス南部ヴェルグで46.0℃に達しました。この状況下、熱中症で死亡したり、空気が乾燥して干ばつが発生したりしました。

アメリカではラスベガスで最高気温が46.7℃を観測、フェニックスでは最高気温43℃以上の日が31日も続いたそうです。元来、最高気温が40℃を越す地方ですが、これらは初めてのことです。世界一暑い地方といわれるデスバレーでは数日53℃にも達しました。晴れて乾燥した日が続いたり強い風が吹いたりすると、ハワイ・マウイ島のような大規模な火災に発展することもあるようです。こうした高温は温暖化が進行する中での現象かもしれません。日本では、夏は湿度が高いのでこのような火災は起こりにくいほうですが、日本海側ではフェーン現象発生時に大火が起きたことがあります。

この夏、東京都心では最高気温35℃以上の猛暑日が22日ありましたが、江戸川臨海では4日だけでした。江戸川区で猛暑日が続かなかったのは海風の影響を受けやすいからです。猛暑でも比較的気温が低い江戸川区は他所と比べ過ごしやすいとされています。一方、2004年



図：日本海側のフェーン現象と天気図

7月21日のように暑い内陸から風が吹けば40℃近い気温にもなることがあります。

次回は、その4「気温が上がると海面水温も上がる」というタイトルで、この夏の東京湾北部などの海面水温について話題を提供します。

週末のお天気					2023年09月15日11時 気象庁 発表					
日付		今日 15日(金)	明日 16日(土)	明後日 17日(日)	18日(月)	東京 気温 (℃)				
東京地方		曇後雨 	曇後時々晴 	晴時々曇 	晴時々曇 	最高	32	32	34 (32~35)	34 (32~36)
降水確率(%)		-/-/50/60	30/20/20/20	20	30	最低	-	24	25 (24~26)	25 (24~27)
信頼度		-	-	-	A					

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(週末はまだ暑い日が続きますが、下旬に入ると秋らしい日が増えそうです)